

(作成年月日) 2026 年 7 月 1 日

臨床研究に関する情報

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日制定、令和 5 年 3 月 27 日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

感染症専門医の病棟回診導入後の感染症診療プロセスの変化：後ろ向き観察研究

[研究の目的]

感染症専門医による全病棟回診（ラウンド）導入が、感染症コンサルト件数、広域抗菌薬（幅広い細菌に対して効果のある強力な薬）使用量および感染症診療の質に及ぼす影響を明らかにします。また、回診中における感染症専門医と病棟医との対話の機会の有無が、これらに与える影響についても検討します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

研究対象期間中（2024 年 4 月 1 日-2026 年 6 月 30 日）に香川大学附属病院に入院した患者さんを対象としております。

○利用する情報

情報：抗菌薬適正使用チームへのコンサルト（相談）の件数および相談時期、相談診療科、院内での抗菌薬の使用状況（広域抗菌薬使用量）、広域抗菌薬の狭域抗菌薬（特定の原因菌に対してのみ効果のある薬）への変更の実施状況、不適切な抗菌薬使用の有無、黄色ブドウ球菌菌血症およびカンジダ血症に対する推奨診療（診療バンドル）の実施状況

○上記情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

[研究責任者]

香川大学医学部附属病院 感染症教育センター 准教授 横田 恭子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 感染症教育センター 担当医師 福盛 勇介

電 話：087-891-2449 FAX：087-891-2254